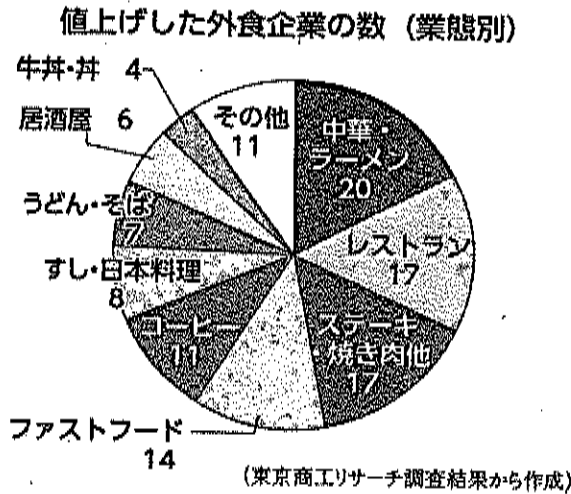


大手外食から昨年7割超値上げ



複数回値上げ約4割に

商工リサーチ

大手外食チェーンの値上げが止まりません。民間信用調査会社の東京商工リサーチが24日発表した調査によると、大手外食チェーン122社のうち、2022年1月から23年4月上旬までに値上げを実施・公表したのは86社(構成比70・4%)と7割を超えたことが分かりました。このうち、48社・58業態で複数回の値上げを実施しまし

た。原材料高や円安による輸入食材の価格高騰に加え、サービスマン不足、光熱費上昇を値上げの理由に挙げる企業が相次ぎました。値上げ回数は、「1回」が38社(同31・1%)でした。「2回」が35社(同28・6%)、「3回以上」は13社(同10・6%)でした。複数回の値上げを実施した会社は39%を超えました。

原材高や円安による輸入食材の価格高騰に加え、サービスマン不足、光熱費上昇を値上げの理由に挙げる企業が相次ぎました。値上げ回数は、「1回」が38社(同31・1%)でした。「2回」が35社(同28・6%)、「3回以上」は13社(同10・6%)でした。複数回の値上げを実施した会社は39%を超えました。

東京商工リサーチは、国内の大手外食チェーン122社を対象に、22年1月から23年4月上旬までの値上げ、および価格改定を調査しました。

業態の中で「中華・ラーメン」が最多でした。次いで、「レストラン」「ステーキ・焼き肉他」が各17業

態、「ファストフード」14業態と続きます。輸入牛肉の価格高騰で、

22年春にかけてファミレスや、ステーキ・ハンバーグ

店の値上げが多発しまし

た。22年末以降も仕入価格

の上昇などにより、牛肉を

使用するメニューの価格見

直しの波が再び起き、件数

を押し上げました。